

外国語教育メディア学会（LET） 関西支部 2020 年度春季研究大会 発表要項集



日 時： 2020 年 5 月 16 日（土）9：00 開会

場 所： オンライン開催

主 催： 外国語教育メディア学会（LET）関西支部
<http://www.let-kansai.org/>

事務局： 外国語教育メディア学会（LET）関西支部事務局

〒657-8501 神戸市灘区鶴甲 1 丁目 2-1
神戸大学大学教育推進機構 国際コミュニケーションセンター
大和 知史 研究室内
E-mail： kansaiet@gmail.com

プログラム

(要項集 目次)

p. 1	関西支部長 挨拶 支部長◆ 菅井 康祐(近畿大学)
p. 2	2020 年度外国語教育メディア学会(LET)関西支部 春季研究大会について
p. 3	ワークショップ
p. 3	1■ ICT で加速する語学教員の働き方改革ーチームによるクラウド活用の初歩ー 講師◆ 木村 修平(立命館大学)
p. 3	2■ Mac でテキスト分析！ 講師◆ 今尾 康裕(大阪大学)
pp. 4-6	研究発表・実践報告
p. 4	1■ 研究発表 Foreign Language Anxiety of Japanese EFL Learners: Focusing on Anxiety When Speaking English 日本人英語学習者の外国語不安: 英語発話時の不安を中心として Yuka Masutani (Graduate School of Literary Studies of Doshisha Women's College of Liberal Arts)
p. 5	2■ 実践報告 クラウド型教育支援サービスを活用したフィードバックの有効性について: ライティング活動より Effects of Feedback Using e-Portfolio in Writing Activity 人見 麻紀(関西大学大学院)
p. 6	3■ 実践報告 VR 体験を媒介とした詩作による、入門者向け英語教育の試み: 五行詩 Cinquain を中心に Teaching English for novice learners by poetry creations through VR experiences: Focusing on a five line stanza form Cinquain 矢野 浩二郎(大阪工業大学)
pp. 7-13	賛助会員広告(提出順)
別紙	支部総会(オンライン開催) 期間:5 月 16 日(土) 13:00~5 月 23 日(土) 13:00

支部研究大会初のオンライン開催にあたって

菅井康祐（支部長・近畿大学）

LET 関西支部会員の皆様、2020 年度 LET 関西支部春季研究大会に関心をお持ちいただき、本要項集にアクセスいただき誠にありがとうございます。教育現場の状況が日々刻々と変化するなか、さまざまな対応や準備に追われる先生方も多いのではないのでしょうか。多くの学会がこの状況下で学会・研究会等の開催が中止される中、本会はオンラインでの開催という形を取ることにいたしました。これは「メディア」を冠する学会だからこそ、この状況下でもしっかりと活動を進めること、また、会員の皆様のご発表の機会を担保し、会員の皆様に学会企画への参加機会を提供することが学会の最も重要な役割の一つだという考えに基づいた運営委員会の判断です。

今回は、残念ながら対面での討論が中心となるシンポジウムについては見送りとなりましたが、ワークショップ 2 件、研究発表・実践報告 3 件のプログラムで開催することができました。ワークショップ講師の先生方・発表者の皆様、平時とは異なる形での大変手間のかかるご準備だったかと存じます。この場をお借りして深く御礼申し上げます。

さて、今回さまざまな活動がリモートでも行えるということが明らかになり、教育・研究を取り巻く環境も大きく変容すると考えられます。慣習的に対面で行われていたものの中にもその必然性が問われ、オンラインで置き換えられるものが多くでてくるでしょう。その事自体の良し悪しは別の議論ではありますが、我々教育関係者は、環境が変わってもその中で与えられたツールを用いて、最善の学習機会を学習者に提供する必要があります。その意味において「外国語教育メディア学会」の果たすべき役割は今後ますます大きくなると考えられます。そのためには会員の皆様にも協力いただき、外国語教育に関する教育・研究の知見・情報を、学会を媒体としてさらに広く共有していくことが必要だと考えています。これからもう 2 年、支部長として本学会の運営に携わることになりましたが、会員の皆様と一緒に本会を通して教育・研究に貢献できればと考えております。今後とも当学会活動へのお力添え、どうぞよろしくお願いいたします。それでは、オンラインでのワークショップ・研究発表にご参加下さい。

※事務局より：2020 年度春期研究大会の運営方法につきまして、口頭発表、ワークショップ・シンポジウム、支部総会、賛助会員展示の本大会における取り扱いを記した支部長名での発信文書（5 月 4 日付）を、次ページに再掲いたします。

2020 年 5 月 4 日

LET 関西支部会員の皆様

LET 関西支部長 菅井康祐

2020 年度外国語教育メディア学会（LET）関西支部
春季研究大会について（決定）

平素より本学会の活動にご尽力とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、LET 関西支部では、5 月 16 日（土）開催予定の春季研究大会および支部総会について、予定通りの対面の形での開催を断念するという判断となりましたことは 4 月 1 日にお知らせした通りです。大会・総会開催の代替方法として暫定的にお知らせしていた以下の内容について、この度、緊急事態宣言の発令といった情勢を勘案の上、決定しましたのでお伝えいたします。以下の赤字での追記説明が決定事項です。

●口頭発表について

研究発表・実践報告については、大会開催日（5 月 16 日）までの発表要項集の発行をもって発表に替える。スライド・その他の発表資料については、開催日までに要項集原稿とともに関西支部ウェブサイトにて公開する。

→変更なし。ただし、要項集原稿は、電子的な要項集として発行し支部サイトに掲載する。

●ワークショップ・シンポジウムについて

ワークショップ・シンポジウムの企画については、要項集原稿・発表資料の支部ウェブサイトでの公開に加え、大会開催日に、事前収録あるいは同時配信の形式にてオンラインで実施する。どちらの形式であっても、登壇者と視聴する会員の間で、同時あるいは事後の双方向性を担保できるような策を講じる。ただし、シンポジウムに関しては登壇者の討論が前提となるため、オンラインでの実施が不可能な場合は、要項集原稿・発表資料の支部ウェブサイトでの公開のみ、あるいはそれに加えて別途支部通信や支部研究集録の紙面での討論の形を取る可能性がある。

→ワークショップの一部について、要項集原稿（上記の電子的な要項集）・発表資料の支部ウェブサイトでの公開に加え、大会開催日に、事前収録の形式にてオンラインで実施する（会員限定公開、および申し出により非会員の希望者に対する無償公開とする）。

シンポジウムは、今回は行わず、対面で行える別の機会に延期する。

●支部総会について

支部総会については、大会開催日以降に支部サイト会員限定領域にて、説明補足資料とともに掲載する。オンライン形式にて、一定期間の質問受付・意見聴取・賛否確認を実施する。

→変更なし。

●懇親会・賛助会員展示について

懇親会・賛助会員展示については実施しない。

→変更なし。ただし、賛助会員展示の代替として、賛助会員からの広告については、上記の電子的な要項集に「無料」で掲載する。

以上

ICT で加速する語学教員の働き方改革 ーチームによるクラウド活用の初歩ー

木村 修平（立命館大学）

本ワークショップでは、英語と ICT を汎用的なインフラストラクチャと捉えるプロジェクト型学習の構成と成立要件について、立命館大学で 10 年以上実施されているプロジェクト発信型英語プログラムを事例に理解を深めていただきます。クラウドテクノロジーを仕事のインフラに組み込むことで、テレワークにも適した働き方改革が可能になることを具体的に提示します。特に、同プログラムの授業タスクが ICT の活用と密接に結びついていることを示し、プログラムの改善とアップデートが大学教員の働き方のバージョンアップに直結する点を強調します。最後に、異なる大学間で同様のプログラムを共通プロトコルとする緩やかな教育ネットワークの構築を提案します。

ワークショップ 2

Mac でテキスト分析！

今尾 康裕（大阪大学）

本ワークショップでは、CasualConc などの Mac 用アプリケーションを使用して、学習者の英語サンプルやウェブからのテキスト収集、テキストファイルの下処理、基本的なテキスト分析までを行います。デモを含めて英語のテキストを中心に扱いますが、日本語やその他の言語のテキストの扱い方についても触れます。CasualConc や CasualTagger をインストールしてある Mac を用意していただくと、簡単な分析を体験していただけます。

Foreign Language Anxiety of Japanese EFL Learners: Focusing on Anxiety When Speaking English

日本人英語学習者の外国語不安: 英語発話時の不安を中心として

Yuka Masutani (Graduate School of Literary Studies of Doshisha Women's College of Liberal Arts)

Keywords: Foreign Language Anxiety, FLCAS, AMTB

1. Introduction

The purpose of the current study was to elucidate the traits of Japanese EFL learners' anxiety for learning and speaking English. For this study, the Scale of Anxiety for English Learning and Speaking was designed based on the FLCAS and the AMTB and validated.

2. Participants

Three hundred thirty-eight Japanese learners of English (120 males, 213 females, and 5 not identified) participated in this study. Fifty-four seniors were at a private university (38 English majors and 16 majors of other languages). One hundred thirty-one students (121 freshmen, one sophomore, three juniors, three seniors and two not identified students) were at a private women's college (130 English majors and one Japanese major). One hundred fifty-three students were at a national college of technology (all technology majors).

3. Methodology and Development of the Scale

To collect data, the Scale of Anxiety for English Learning and Speaking was designed and used. The scale consists of two parts. The first part has 33 items applied from the Foreign Language Classroom Anxiety Scale (FLCAS) developed by Horwitz et al. (1986). The second part comprises 12 items from the latter section of the Attitude / Motivation Test Battery (AMTB) created by Gardner (2004). All items in the scale was translated into Japanese by the author and two Japanese professors specializing in English Pedagogy.

4. Results and Discussion

Cronbach's alpha analysis was used for the internal consistency reliability of the scale ($\alpha = .770$). Descriptive statistics revealed the following findings. The participants seemed to have a stronger sense of inferiority that other students are more fluent in speaking English than them. This finding supports an argument by Woodrow (2006) that English learners in Asian cultures are more unconfident in their proficiency than those learners in other cultures. The participants answered that they sympathized with English learners who got upset in English classes.

References

- Gardner, R. C. (2004). *Attitude Motivation Test Battery: International AMTB Research Project*. Ontario: The University of Western Ontario
- Horwitz, E. K., Horwitz, M. B., & Cope, J. (1986). Foreign language classroom anxiety. *The Modern Language Journal*, 70, 125-132.
- Woodrow, L. (2006). Anxiety and speaking English as a second language. *RELC Journal*, 37, 308-323.

クラウド型教育支援サービスを活用したフィードバックの有効性 について:ライティング活動より

Effects of Feedback Using e-Portfolio in Writing Activity

人見 麻紀 (関西大学大学院)

キーワード: クラウド型教育支援サービス, e-ポートフォリオ, フィードバック

1. はじめに

近年、クラウド型教育支援サービスを取り入れた授業が盛んになってきている。このような状況を鑑み、クラウド型教育支援サービスをどのように授業で活用していくのかという点に焦点を当てた研究も数多くある。例えばライティング分野では、オンライン上でのフィードバックが学生のライティング過程(文法の正確性)において有効であったという報告がなされている(Shintani & Aubrey, 2016)。こうした先行研究を基に本実践報告では、クラウド型教育支援サービスを利用してライティングにおける e-ポートフォリオを構築し、そこでのフィードバックがライティングにもたらす効果を検証した。

2. 参加者と手順

参加者は、滋賀県の大学 2 回生計 35 名(2 クラス)であった。参加者は、必修で英語の科目を履修しており、本実践報告には、2019 年度秋学期に参加した。

本科目のプロジェクトの 1 つであるエッセイライティングをクラウド型教育支援サービスを通して実施した。学生はライティングをオンラインで提出し、その都度教員からのフィードバックもオンラインを通して行った。

3. 結果と考察

分析の結果、クラウド型教育支援サービスでのライティング活動におけるフィードバックの有効性が示唆された。これは、Shintani & Aubrey (2016)らの結果を支持するものである。また、自律的にライティング課題に取り組んだ学生が一定数いたことも興味深い結果となった。

参考文献

Shintani, N., & Aubrey, S. (2016). The effectiveness of synchronous and asynchronous written corrective feedback on grammatical accuracy in a computer-mediated environment. *The Modern Language Journal*, 100(1), 296-319.

VR 体験を媒介とした詩作による、入門者向け英語教育の試み：

五行詩 Cinquain を中心に

Teaching English for novice learners by poetry creations through VR experiences:
Focusing on a five line stanza form Cinquain

矢野 浩二郎（大阪工業大学）

キーワード：VR, 異文化体験, 詩作, Cinquain

1. はじめに

近年、関連技術の進歩により仮想現実（VR）体験を安価に提供することが可能になり、それらを用いた様々な教育コンテンツが開発されている。その中でも VR を用いた英語学習では、「外国」という英語を実際に用いる環境を仮想空間で疑似体験したり、その中で会話 AI を持ったアバターと会話するなど、効果的な *Situated Learning* が可能になる。しかし、現在 AI を用いた会話は定型的な受け答えに限定され、仮想空間での豊かな体験を学習者の英語表現に反映させられないという問題がある。一方で、海外では VR 体験を学習中の言語で描写させるといった、VR 体験を媒介とした外国語表現の取り組みが報告されている（Huang, H. L., Hwang, G. J., & Chang, 2019）。しかし、英語入門者（小学校中学年～高学年相当）が VR 体験を英作文で表現することは難しい。そこで本稿では五行詩の一種である Cinquain を活用することで、初学者でも VR 体験を英語で表現できるようにする取り組みを紹介する。

2. 参加者と手順

小学生向けVR体験ワークショップ（中学年16名、高学年6名。1回45分）で、世界各地の10か所の世界遺産をVRで提示する「VR世界遺産」を体験した後、テンプレートに従いCinquainを創作した。詩作補助のため、体験した世界遺産に関連する名詞（Sky, Riverなど）、形容詞（Blue, Bigなど）、動詞（Walk, Lookなど）を集めた単語帳とデジタル和英辞典も用意した。詩のフォーマットは以下の通り。

1行目：学習者が選んだ世界遺産の名前、**2行目**：その世界遺産で見たものの「ようす」を2つの形容詞で表現、**3行目**：見たものの「うごき」を3つの動詞で表現、**4行目**：見たもので気に入ったものを “___, ___ I love.” の形式で表現、**5行目**：Heritageと書く。

3. 結果と考察

参加者のほぼ全員がフォーマットに従って詩を完成できた。以下に、参加者からの作例を紹介する。SydneyのSydney Opera HouseとHarbour Bridge周辺のVR体験の描写である。中学年では詩作が上手いかず不満そうな顔をするケースも見られたが、高学年の参加者はスムーズに作品を完成させていた。Venice（Ponte di Rialto）、Paris（La tour Eiffel）、Sydney（Harbour Bridge）などランドマークが明確な都市が好まれる傾向があったが、使用された表現は参加者で幅があり、各自の創作力が発揮されたと考えられる。

Sydney
Blue, green
Sit, look, walk
Harbor Bridge I
love
Heritage

参考文献

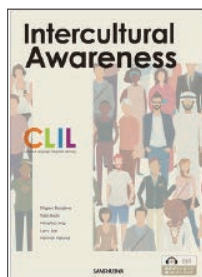
Huang, H. L., Hwang, G. J., & Chang, C. Y. (2019). Learning to be a writer: A spherical video-based virtual reality approach to supporting descriptive article writing in high school Chinese courses. *British Journal of Educational Technology*.

三修社の英語テキスト **新刊・好評既刊**

大学生向けの語学教科書（一部高校でのご利用も）をご用意しております。
詳細につきましては、弊社ホームページにて内容見本・音声サンプルなどをご提供しております。
採用のご検討にご利用ください。

<https://www.sanshusha.co.jp/text/>

CLIL（教科科目と言語習得を統合）



CLIL 英語で培う文化間意識

笹島 茂 / 工藤泰三 / 荊 紅涛 / Joe Larry / Hannah Haruna 著

B5判 112ページカラー 全15課

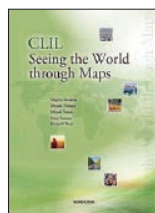
定価：本体 2,000円＋税

ISBN978-4-384-33494-4

英語力を高めながら、
異文化間意識を培う
CEFR B1 レベル (A2からでも学習可能)



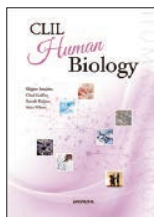
CLIL 英語で学ぶ
国際問題



CLIL 英語と地図で
学ぶ世界事情



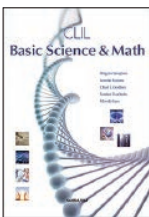
CLIL 英語で学ぶ
世界遺産



CLIL 英語で学ぶ身
体のしくみと働き

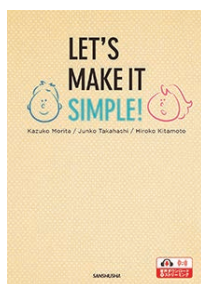


CLIL 英語で学ぶ
健康科学



CLIL 英語で学ぶ
科学と数学の基礎

リメディアル



レッツ・メイク・イット・シンプル！ はじめての実践英語

森田和子 / 高橋順子 / 北本洋子 著

B5判 96ページ2色刷 全13課

定価本体 1,800円＋税

ISBN978-4-384-33482-1

好評既刊『Make It Simple
(メイク・イット・シンプル)』
のオールイングリッシュ版



リメディアルでも《英語で授業》に対応



コミュニケーションのための実践英語 1

【入門編】 Julyan Nutt / Michael Marshall /

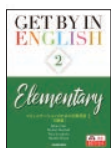
倉橋洋子 / 宮田 学 著

シリーズ

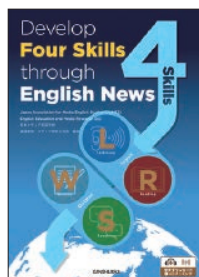
『2 [初級編]』

『3 [準中級編]』

発売中



メディア／総合英語



ニュース英語で4技能を鍛える インプットからアウトプットへ

日本メディア英語学会

英語教育・メディア研究分科会 編著

樹原克巳監修・執筆 有江和美 / 佐藤文子 /

恒安真佐 / 南部匡彦 / 畠山由香子 / 吉原 学 /

和久健司 / Jason Goodier 執筆

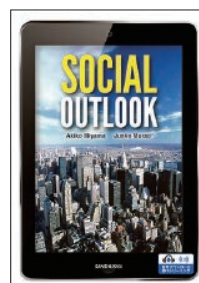
B5判 104ページ 全14課

定価：本体 1,800円＋税

ISBN978-4-384-33495-1

リーディング素材からアウトプットへつなげる

メディア／リーディング&リスニング



ソーシャル・アウトルック

メディア英語で社会を視る

深山晶子 / 村尾純子 編著

B5判 76ページ 全15課

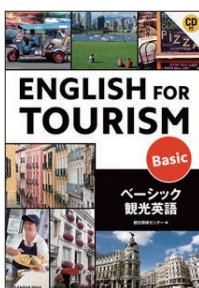
定価：本体 1,700円＋税

ISBN978-4-384-33493-7

情報の要点を的確かつスピーディー
に把握！

読解・速聴能力を養成

観光英語



CD付 ベーシック観光英語

観光英検センター 編著

B5判 112ページ 全23課（11課＋補

章12課）定価本体 2,000円＋税

ISBN978-4-384-33437-1

旅行・観光にかかわる
基礎英語力を養う

CD付 ステップ
アップ観光英語



おもてなしの 観光英語

インバウンド
観光に対応で
きる英語力を

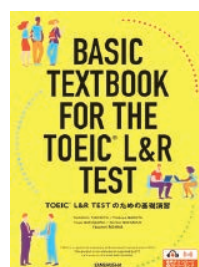


ホスピタリティ・ コミュニケーション

実践形式で学ぶ
おもてなし英語

航空・テーマパーク・
ホテル業界をめざす

TOEIC® L&R



TOEIC® L&R TEST のための基礎演習

花田徹也 監修 土屋知洋 / 中田達也 編著

中川右也 / 中西のりこ / 仁科恭徳 著

B5判 136ページ 全13課

定価：本体 2,000円＋税

ISBN978-4-384-33497-5

スコア 300点台からの TOEIC® 対策

SANSHUSHA

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 2-2-22

電話 03-3405-4511 FAX03-3405-4522

外国語教育メディア学会（LET）関係者各位

COVID-19 緊急事態宣言で行動制約を余儀なくされる中、残念ながら LET 関西支部 2020 年度春季研究大会も対面の形での開催を断念する判断がされました。電子版要項集の発行をもって発表に代えるとの方針は、この歴史的出来事を記録に留める手段として絶好の機会なので、賛助会員として以下の通り広告案内させていただきます。

英語並びに日本語の CBT 型コミュニケーション力測定テスト「OPIc」を主に教育現場に現状把握・教育効果測定を主たる目的として提供して参りました（青山学院大学様への英語版の適用事例参照下さい）。

今夏プラットフォーム基盤強化に伴い、評価レンジ並びに**対象言語の拡張を計画**しています。COVID-19 の影響で ICT 環境、中でもヘッドセット等の整備が促進され適用場面が充実する中、サービス適用方法につき LET 関係者と拡張対象言語の実地評価・意見交換を致したく inquiry@global8.or.jp にて問合せお待ちしております。

英語コミュニケーション力測定テスト「OPIc」

青山学院大学様にて開催



■OPIcを「褒める」「良いものだ」という意見が9割！

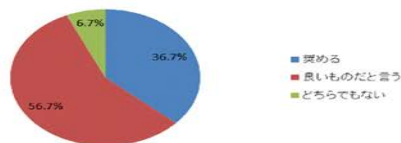
受験後、全員にアンケート調査を実施しました。それによると「友達や後輩に受験を奨めます」という意見が9割以上を占め、たいへんポジティブに受け留めていただきました。

また、自由記述のコメントでは、

- ・途中でレベルを変えられるのは良いと思った
- ・自分でレベルが選べるため、気軽に受けやすいテストだと思いました

という意見を多く頂きました。実はOPIcでは、レベルの選択と変更ができるのです。いったい、どうなのでしょう？

友達や後輩に受験を奨めますか？



オリエンテーション

① Background Survey

- 職業、関心分野、レジャー、趣味など自分に関連する選択肢を選ぶ

- 個人に関するアンケートの結果から、関連する問題を出題
- テストに対する安心感、発言量を確保

② Self Assessment

- スピーキング能力に関する説明と回答サンプルから、自分のレベルを自己診断する
- 自己診断の結果から、問題のレベルを決定
- レベルによって問題の難易度が異なる

受験者のレベル、関心分野に基づいて12～15問が出題

- ある場所、人、物事に関する出題
- 仕事や周辺活動に関する出題
- 過去の経験、仕事などに関する出題
- 質問を作成する出題

テスト



■自分でテーマの選択やレベルの設定ができるOPIc

OPIcには「background survey」と「self assessment」という2つの機能があります。

「background survey」は、いわば事前アンケートのようなものです。職業や趣味、関心分野などを選択すると、それに沿った出題がされます。

「self assessment」は、レベルを選択できる機能です。初級レベルから上級レベルまで、自分の現状に合ったレベルを選択して受験することができます。もしもレベルが合わないと感じた場合は、途中で一度だけ変更することもできます。

■受験後の突撃インタビュー（原文のままご紹介！）



Aさん

（他のスピーキングのテストは）まとめるだけみたいな感じで、自分で何も考えさせてくれないテストなので、それと比べると自分でもっと作文してる感じがあってすごい楽しかったです。普段やっているのが基本的にリスニングとリーディングで、受け身のことが多かったのですが、もうちょっと書いたり話したり、そういう発信できるような人間になれるようになってみたいです。

（一つの問題には）時間制限がなかったのが頭の中でちゃんと落ち着いて整理する時間があつたのすごく話しやすかったです。



Cさん

大学ではチャットルームというのがあってそこでは留学生や先生と英語でコミュニケーションすることができます。今後は、そこに積極的に通っていきたいなと思いました。



Bさん

■小張敬之先生（経済学部教授、Ph.D.）からコメントを頂きました

「現場で国際的に働いている方のお話は、これから就職活動をしている3年生に大変いい刺激になりました。今回のOPIcの試験と講演、大変良かったと思います。又、引き続きのシンガポールでのゼミ研修にも相乗効果を及ぼし、その成果は事前と事後のOPIc評価における効果にも現れていると思います」



一般社団法人 Global8 〒108-6028 東京都港区港南 2-15-1 品川インターシティ A 棟 28 階 URL: <http://global8.or.jp>

オンラインで英語の「多聴多読」ができる

LMS 機能付き電子図書館



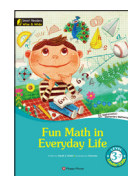
e-st.cosmopier.com



下記の2コースのいずれか、または組み合わせたセットコースがご利用いただけます。

読み放題コース

多読用リーダー 約 **1,100** 冊



聞き放題コース

スピーチ、インタビュー、ニュースなどのなま素材
約 **2,300** コンテンツ



コンテンツは
他にもどんどん
増えていきます

どんなことができます?

- 1 「読み放題」コンテンツにはすべて「音声」付き、「聞き放題」コンテンツはすべて「スクリプト/訳・語注」がついていますので、**3,300 タイトルすべてを「読む」「聞く」**事ができます。
- 2 LMS 機能では、先生が生徒に課題図書を出したり、生徒が聞いたり読んだりした語数を確認することができます。また、読むコンテンツには、内容を理解しながら読めているか確認するためのクイズもついています。
- 3 最小人数 5 名様より団体扱いとさせていただきますので、教室単位、学校単位だけではなく、クラブ活動などの少人数でもご利用可能です。(団体向けの特価を設定しています)



デモアカウントのお申し込み、詳しい料金につきましてはこちらまで

「聞き放題」コース、「読み放題」コース学校版を 1 カ月ご利用いただける
デモアカウントをお送りいたします。

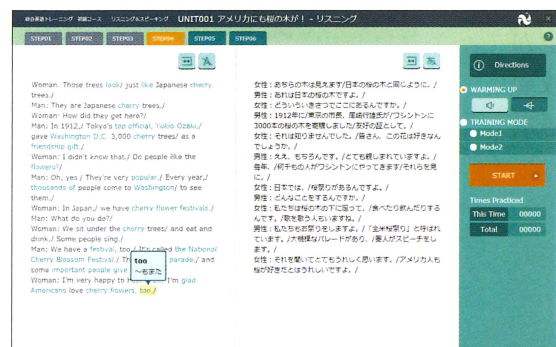
下記メールアドレスまでお気軽にご連絡ください。

tachibana@cosmopier.com (担当: 立花)

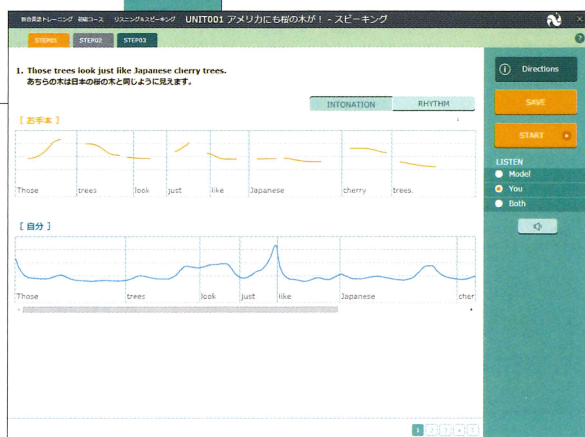
電子パンフレットは
こちらから

LMS の詳細や登録されている多読シリーズが
ご覧いただけます





▲音声スピードや英文・日本語訳の表示/非表示が選べ、英文が一定のスピードで消えていく機能を使った速読トレーニングも可能です。



▲学習者の声が録音・認識され、イントネーションや強弱の波形を表示。ネイティブの音声やその波形と比べながら、発話練習ができます。※タブレット・スマートフォンからはご利用いただけない機能です。

パソコン・タブレット・スマートフォンで英語学習ができる e ラーニングシステム。学校にサーバーや専用端末がなくても、生徒 1 人単位で導入していただくことが可能です。「総合英語トレーニングコース」では、長文や会話文を素材とした“リーディングからのライティング”や“リスニングからのスピーキング”といった4技能タスクを豊富にご用意。e ラーニングならではの特長として、学習者のレベルやニーズに寄り添ったトレーニングを提供することができ、複数の生徒の進捗状況を一覧で把握することも可能です。

「総合英語トレーニングコース」学習の流れ

◎1つの長文に対して、以下のタスクが用意されています

- 1 リーディング/リスニング問題
- 2 語彙フラッシュカード
- 3 語彙ドリル
- 4 スラッシュ・リーディング/リスニング
- 5 スピード・リーディング/リスニング
- 6 書き写し/ディクテーション
- 7 整序作文(単語単位)/リピーティング
- 8 長文音読
- 9 整序作文(文単位) ロールプレイ
- 10 REVIEW(4~5ユニットごと)

採用校の声

英語力の向上とともに見えた3つの効果

本校の英語コースでは、「ALC NetAcademy NEXT」を、コミュニケーション英語の主教材の一つと位置付け導入しています。最初の授業で、一斉にユニット1に取り組ませ、学習のアドバイスを伝えます。以後は、「学習進捗率」で週ごとに目標を設定し、家庭や専用教室で自習。目標に到達できなかった生徒には、放課後学習を課しています。

導入後、英語力の向上はもちろん、思いがけない効果を得ることもできました。まずは発音フィードバック回数の向上。40人一斉授業では、難しかった発音の確認が e ラーニングではスムーズです。2つ目は、大学入試にも導入される予定の CBT 方式への対応。スマートフォンには慣れていても、パソコンは触ったこ

青 麻里子先生 (桜花学園高等学校 教諭)

とがない、という生徒が多い中、e ラーニング教材で早くから英語のタイピングに慣れておくことは、圧倒的に有利と言えます。3つ目は、ビジネス英語への意識付け。教材を通して、ビジネス英語の実例に触れたことで意識が高まり、自主的に TOEIC® L&R テストを受ける生徒が増えました。

管理画面を見ると、学習進捗率が英語の成績とは無関係なことが分かります。紙の英語学習は苦手でも e ラーニングならできる、という生徒が存在するのです。学習のスタイルは人それぞれ。生徒の可能性を広げる 1 ツールとしての有用性を感じています。

※2017 年 10 月末現在の情報です。

アルクは1998年にWebベースの学習教材 ALC NetAcademy シリーズの提供を開始して以来、全国620以上の教育機関と480以上の企業で採用され、実績と経験を重ねています。特に教育機関で多くご採用いただいた経験から、学校の英語教育や企業の研修で使いやすい仕組みや機能を数多く取り入れています。

お問い合わせ

株式会社アルク 文教事業部 文教営業部

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-2-6 市ヶ谷ビル

TEL: 03-3556-1668 E-mail: academy@alc.co.jp

<https://www.alc-education.co.jp/academic/nanext/>

▼お問い合わせはこちらから



TOEIC® カリスマ講師の早川先生が厳選した単語＆フレーズ集誕生！

DataBase

2020年春
新刊

TOEIC® L&Rテスト 最強 単語＆フレーズ

早川幸治 著

B6 判変型・448 頁 税込定価 1,760 円

ISBN978-4-342-00187-1

付属品

STUDENTS

〔学生用〕



データダウンロード（音声）、
学習アプリ「きりはらの森」、
音声アプリ「LISTENING PRACTICE」

TEACHERS

〔教員用〕



テスト作成プログラム

TOEIC® 300 400 500 600 700 800 900 CEFR A1 A2 B1 B2

- ・TOEIC® カリスマ講師の早川幸治先生が厳選した単語＆フレーズ 2000 を収録しています。
- ・レベル別（5 レベル）＋場面別・機能別（ジャンル別）掲載で、同じような場面に出現する語彙＆フレーズはまとめて覚えるほうが覚えやすいを実践した語彙集です。
- ・語句の例文は平易で、その場面に合わせた内容かつ 10 語前後で構成されているので、音声を聞いて音読定着することが無理なくできます。
- ・レベルは 5 段階に設定しています。各レベルは均等収録語数ではなく、この語彙集を最も必要とするレベルに傾斜をつけた語句数にしています。
- ・学生用に学習アプリ「きりはらの森」をご用意しています。また、教員用として、テスト作成プログラム「テストメーカー」を無料でご提供しています。

DataBase

TOEIC® L&Rテスト 最強 単語＆フレーズ

初級～上級レベル対応
厳選語句を2000収録

TOEIC is a registered trademark of Educational Testing Service (ETS).
This publication is not endorsed or approved by ETS.
*L&R means Listening and Reading.

早川 幸治 著

TOEIC® カリスマ講師

早川 幸治が厳選した

単語＆フレーズ2000!!

魔法はないけど手品はある。
タネとシカケの語彙学習!

桐原書店



最強 単語＆フレーズ 2000語句を収録

レベル別＋場面別・機能別掲載

Level 1 基本語句 250
～Score 470

Level 2 絶対に必要な語句 800
Score 470 ～ 600

Level 3 平均スコアを
超えるための語句 600
Score 600 ～ 730

Level 4 さらに上を
目指す語句 200
Score 730 ～ 860

Level 5 高スコアを
取るための語句 150
Score 860 ～

学習に喜びと感動を

桐原書店

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 4-15-3 住友不動産西新宿ビル 3 号館

見本ご請求先 TEL: 03-5302-7036（大学営業部） E-mail: university@kiri-hara.co.jp



より**使いやすい**く、
もっと**楽しく進化**しました!

WeLL UX <Ver.13>



アクティブ・ラーニングモード

タブレットやノートPCで学習できます。

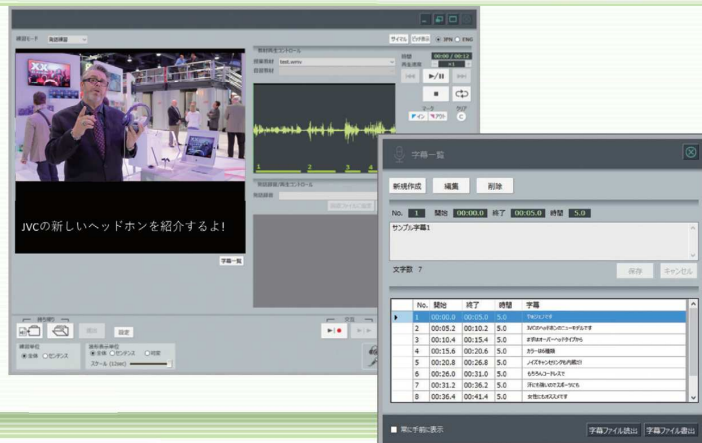
Wi-Fi接続を使用して、タブレットやノートPCでアクティブ・ラーニング形式の授業を行うことができます。
席を自由に移動してグループごとに集まり、画面共有機能を使った協同学習が可能です。
教員操作画面からは、各学習者のバッテリー残量やWi-Fiの電波強度もモニターすることができます。



字幕機能

動画に映画のような字幕を追加できます。

動画教材を再生しながら、場面を選択して音声の波形に合わせ学生自前で字幕を作成・編集し、映画のように映像の下にセリフなどを表示させることができます。
文字テロップを入れられるアプリは多種類存在しますが、当社の字幕機能はシンプルな操作で字幕映像が簡単に作成できます。
グループワークで会話の聴き取り、翻訳、セリフ作りを行い発表するなど、学生の学習・創作意欲を高める主体的な授業が展開できます。



USBカメラ機能

USBカメラで学生の顔をモニターできます。

USBカメラの活用により、教員が学生の顔をモニターすることができます。
ペア・グループレッスンなどでは、離れた席の学生同士が仲間の顔を見ながら会話練習できることで理解も深まり、よりアクティブなコミュニケーションを実現します。

【新バージョンで機能UP】

- ① 1秒間に処理するカメラ映像のフレーム数が増え、動画をより滑らかに表示できるようになりました。
- ② 動画の画面表示サイズを4段階で変更が可能に。
自分自身の映像が不要な際、非表示にすることもできます。



●お問合せは…

株式会社 JVCケンウッド・公共産業システム

(本社)

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12
事業統括部 音響ソリューション推進部

(TEL) 045-443-3158
担当: 松本

(関西)

〒553-0002 大阪市福島区鷺洲1-11-19 セントラルビル4F
営業統括部 関西支店 近畿第2営業所

(TEL) 06-6450-4363
担当: 土屋

2019 年新製品

Chieru

MALL システム 《キャラボ エムエックス》

CaLabo[®] MX

授業運営に必要な機能と、先生にやさしい操作性で
PC 学習も、スマホ学習も一元管理。

英語4技能の 学習支援

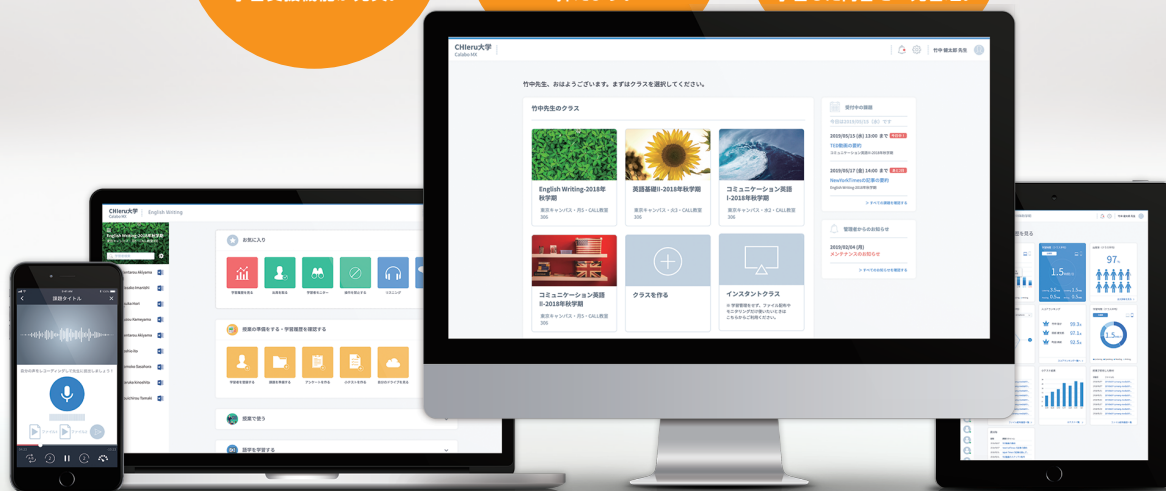
4技能に対応した
学習支援機能が充実。

導入コスト 運用負荷の低減

導入コスト・運用負荷を
抑えます。

学習履歴を 一元管理

PCもスマホも！
学習した内容を一元管理。



英語 4 技能学習に特化した クラウド型の MALL システム

MALL とは、“Mobile Assisted Language Learning” の略。ノート PC やスマホなど可搬性のあるモバイル端末を利用した語学学習を指します。

英語4技能の学習に対応した豊富なアクティビティ

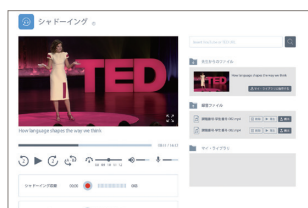
豊富な教材も搭載！

学習履歴を一元管理

聞く
Listening

リスニング
シャドーイング
ディクテーション

音声速度や音量の調整、A-Bリピート
などリスニングに便利な機能を搭載。



話す
Speaking

発音矯正
スピーキング表現
シャドーイング
レコーディング

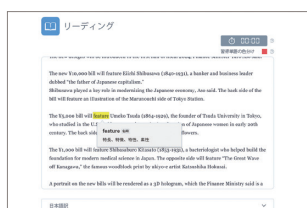
発音矯正や、質問に口頭回答。
音声認識により、自動採点を実現。



読む
Reading

リーディング
英文要約
語彙クイズ

単語の早引きや「My単語帳」への登録、
習得済み単語の色分けなど。



書く
Writing

ディクテーション
ライティング表現

ディクテーションや質問に筆記回答、
英単語の書き取り。自動採点を実現。



Chieru
チエル 株式会社

東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー3F (本社)
お電話は、土・日・祝日を除く午前10:00～午後5:00まで受け付けております。

☎ chieru-sales@chieru.co.jp ☎ 03-6712-9721 www.chieru.co.jp

